



Voice

ボイス

未来のための、ヒントがここに。

第32号

2023.10

今回の定例会(月)



県議会
インターネット中継
配信!

CONTENTS

p.1 ▶ 5月臨時会の概要 p.2 ▶ 議員の紹介 p.4 ▶ 議会トピックス
p.5 ▶ 7月定例会の概要 p.6 ▶ 一般質問の内容 p.12 ▶ 可決された議案 他

[表紙] テーマ 茜色に染まる空 撮影/青森県立青森南高等学校2年 角田しずくさん



5月第96回臨時会の概要

正副議長を選出、

令和5年度青森県一般会計補正予算案などを可決

令和5年5月第96回臨時会
は、5月10日に開会し、5月12日
までの3日間にわたり開催され
ました。

◎開会日(5月10日)

初日の本会議では、まず、議長
及び副議長の選挙が行われ、議長
に丸井裕議員、副議長に寺田達也
議員が選出されました。その後、



就任の挨拶をする寺田達也副議長



就任の挨拶をする丸井裕議長

◎2日目(5月11日)

「令和5年度青森県一般会計補正
予算案」をはじめ、3件の議案及
び9件の報告が上程され、三村
知事から提案理由説明がありま
した。

5月11日には、本会議場におけ
る議席の指定の後、各常任委員の
選任が行われました。また、新幹
線・鉄道問題対策特別委員会及び
原子力・エネルギー対策特別委員
会が設置され、両特別委員会の委
員が選任されました。

◎閉会日(5月12日)

最終日の5月12日には、議案に
対する質疑が行われ、青森県監査
委員の選任に当たったの考え方や、
令和5年度青森県一般会計補
正予算案に係る青森県ひとり親
世帯等臨時特別給付金給付事業
の取組等について、質疑・答弁が
ありました。質疑終了後には採決
が行われ、知事提出議案3件及び
報告3件が可決・同意・承認され
ました。

Column



「臨時会」って、なに?



定例会のほかに、臨時の必要がある場合、特定の事件に限ってこれを
審議するために随時招集される議会。第96回臨時会は、令和5年4月
に青森県議会議員一般選挙が行われたことに伴い、議長及び副議長
の選挙等を行うために開かれた。



会派別に紹介します。

(令和5年6月9日現在)



凡例

- ①選挙区
- ②当選回数
- ③所属常任委員会

自由民主党



たなか じゅんぞう
田中 順造

- ① 十和田市
- ② 9回
- ③ 文教公安



あべ ひろえつ
阿部 広悦

- ① 南津軽郡
- ② 8回
- ③ 環境厚生



しみず えつろう
清水 悦郎

- ① 八戸市
- ② 7回
- ③ 建設



もりうち のぼる
森内 之保留

- ① 青森市
- ② 7回
- ③ 農林水産



くどう かねみつ
工藤 兼光

- ① 西津軽郡
- ② 6回
- ③ 建設(委員長)



みつはし かずみ
三橋 一三

- ① つがる市
- ② 6回
- ③ 総務企画危機管理

代表



やまだ さとる
山田 知

- ① 八戸市
- ② 6回
- ③ 農林水産(委員長)



まるい ゆたか
丸井 裕

- ① 十和田市
- ② 6回
- ③ 農林水産



やまや きよふみ
山谷 清文

- ① 青森市
- ② 5回
- ③ 総務企画危機管理(委員長)



くしびき こ
櫛引 ユキ子

- ① 五所川原市
- ② 5回
- ③ 商工労働観光エネルギー



なつぼり こういち
夏堀 浩一

- ① 三戸郡
- ② 5回
- ③ 文教公安



くどう のりやす
工藤 慎康

- ① 上北郡
- ② 5回
- ③ 商工労働観光エネルギー(委員長)



たかはし しゅういち
高橋 修一

- ① 青森市
- ② 5回
- ③ 文教公安(委員長)



えびさわ まさかつ
蛭沢 正勝

- ① 上北郡
- ② 4回
- ③ 環境厚生(委員長)



てらだ たつや
寺田 達也

- ① 五所川原市
- ② 4回
- ③ 環境厚生



さいとう ちかし
齊藤 爾

- ① 弘前市
- ② 4回
- ③ 総務企画危機管理



はなだ えいすけ
花田 栄介

- ① 青森市
- ② 4回
- ③ 建設(副委員長)



たにかわ まさと
谷川 政人

- ① 弘前市
- ② 3回
- ③ 環境厚生(副委員長)



きくち いさお
菊池 勲

- ① 弘前市
- ② 2回
- ③ 環境厚生



こひりま まさのり
小比類巻 正規

- ① 三沢市
- ② 2回
- ③ 商工労働観光エネルギー(副委員長)



わだ かんじ
和田 寛司

- ① 三戸郡
- ② 2回
- ③ 総務企画危機管理



きみょう かずひと
木明 和人

- ① 上北郡
- ② 2回
- ③ 文教公安(副委員長)



おおさき みつあき
大崎 光明

- ① 八戸市
- ② 2回
- ③ 総務企画危機管理(副委員長)



ふくし なおはる
福士 直治

- ① 東津軽郡
- ② 2回
- ③ 農林水産(副委員長)



なりた ようこう
成田 陽光

- ① 北津軽郡
- ② 2回
- ③ 文教公安



おおさわ としひこ
大澤 敏彦

- ① 平川市
- ② 1回
- ③ 農林水産



くどう ゆうへい
工藤 悠平

- ① 八戸市
- ② 1回
- ③ 商工労働観光エネルギー



いもと たかゆき
井本 貴之

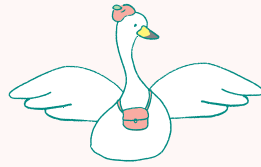
- ① むつ市
- ② 1回
- ③ 建設



くどう たかひろ
工藤 貴弘

- ① 平川市
- ② 1回
- ③ 商工労働観光エネルギー





青森県議会議員を

新政未来

代表



たなぶ さだお
田名部 定男

- ① 八戸市
- ② 8回
- ③ 農林水産



こん ひろし
今 博

- ① 五所川原市
- ② 4回
- ③ 商工労働観光エネルギー



つるがや たかし
鶴賀谷 貴

- ① 弘前市
- ② 2回
- ③ 建設



たかはた のりこ
高畑 紀子

- ① 八戸市
- ② 1回
- ③ 環境厚生



なつぼり かいちろう
夏堀 嘉一郎

- ① 三戸郡
- ② 1回
- ③ 総務企画危機管理



おがさわら だいすけ
小笠原 大佑

- ① 青森市
- ② 1回
- ③ 文教公安

オール青森

代表



かわむら さとる
川村 悟

- ① 弘前市
- ② 5回
- ③ 建設



さいとう たかあき
斉藤 孝昭

- ① むつ市
- ② 1回
- ③ 商工労働観光エネルギー



おおだいら ようこ
大平 陽子

- ① 黒石市
- ② 1回
- ③ 文教公安



きたむき ゆうき
北向 由樹

- ① 上北郡
- ② 1回
- ③ 文教公安



おおさわ ただひろ
大澤 祥宏

- ① 青森市
- ② 1回
- ③ 環境厚生

日本共産党

代表



あんど はるみ
安藤 晴美

- ① 弘前市
- ② 5回
- ③ 建設



よしまた よう
吉俣 洋

- ① 青森市
- ② 2回
- ③ 商工労働観光エネルギー



たばた みゆき
田端 深雪

- ① 八戸市
- ② 1回
- ③ 環境厚生

公明党

代表



いぶき しんいち
伊吹 信一

- ① 青森市
- ② 6回
- ③ 建設



なつさか おさむ
夏坂 修

- ① 八戸市
- ② 1回
- ③ 総務企画危機管理

参政党

代表



ごとう せいあん
後藤 清安

- ① 青森市
- ② 1回
- ③ 農林水産

無所属



しかない ひろし
鹿内 博

- ① 青森市
- ② 7回
- ③ 総務企画危機管理



よしだ ゆかり
吉田 ゆかり

- ① むつ市
- ② 1回
- ③ 農林水産



新幹線・鉄道問題対策特別委員会及び 原子力・エネルギー対策特別委員会が 組織会を開催しました。(令和5年5月11日)

5月11日の本会議で、それぞれ委員23名で構成する新幹線・鉄道問題対策特別委員会及び原子力・エネルギー対策特別委員会が設置され、同日開催された組織会において、正副委員長の互選が行われました。

新幹線・鉄道問題対策特別委員会

委員長 阿部 広悦 副委員長 森内之保留

委員

田中順造 工藤兼光 伊吹信一 山谷清文
 櫛引ユキ子 夏堀浩一 安藤晴美 谷川政人
 小比類巻正規 和田寛司 福士直治 鶴賀谷 貴
 工藤悠平 工藤貴弘 高畑紀子 小笠原大佑
 大平陽子 北向由樹 田端深雪 吉田ゆかり
 大澤祥宏 (R5.6.6選任)

原子力・エネルギー対策特別委員会

委員長 清水悦郎 副委員長 齊藤 爾

委員

田名部定男 鹿内 博 三橋一三 山田 知
 工藤慎康 高橋修一 川村 悟 今 博
 蛭沢正勝 花田栄介 菊池 勲 木明和人
 大崎光明 吉俣 洋 成田陽光 大澤敏彦
 井本貴之 夏堀嘉一郎 齊藤孝昭 夏坂 修
 後藤清安

広報図書委員会が組織会を開催しました。 (令和5年5月11日)

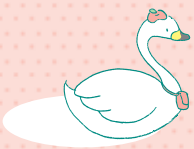
組織会に先立ち、丸井議長から広報図書委員会委員の委嘱が行われ、引き続き開催された組織会において、正副委員長の互選が行われました。

広報図書委員会

委員長 工藤 慎康 副委員長 谷川 政人

委員

木明和人 大澤敏彦 工藤悠平 小笠原大佑
 大平陽子 田端深雪 夏坂 修 後藤清安
 (R5.7.6委嘱)



第96回臨時会で可決された知事提出議案(3件)

予算関係(1件)

- 令和5年度青森県一般会計補正予算(第1号)案

条例関係(1件)

- 青森県道路交通法関係手数料の徴収等に関する条例の一部を改正する条例案

人事関係(1件)

- 青森県監査委員の選任の件

青森県副知事の選任の件などに同意、特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案などを可決

令和5年7月第314回定例会は、7月6日に開会し、7月24日までの19日間にわたり開催されました。

◎開会日(7月6日)

初日の本会議では、日程に先立ち、6月29日に就任した宮下知事の挨拶の後、28日に退任した三村前知事、青山前副知事及び柏木前副知事からそれぞれ挨拶があり、阿部広悦議員から三村前知事に対して送別の演説が行われました。

その後、「特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案」をはじめ、14件の議案及び



開会日の提案理由説明の様子

20件の報告が上程され、宮下知事から提案理由説明がありました。また、上程された議案のうち、「青森県副知事の選任の件」及び「青森県教育委員会教育長の任命の件」についての質疑・答弁があり、その後に行われた採決により、いずれの議案も同意されました。

◎一般質問(7月12日～14日)

7月12日から3日間にわたって行われた一般質問では、12名の議員が登壇し、県政運営の基本姿勢や高等学校教育に対する知事の考え方、農林水産業の振興策、エネルギー施策、子育て施策、動物愛護管理対策、女性の就労支援策などについて質問があり、県当局からそれぞれ答弁がありました。

◎質疑(7月19日)、 常任委員会(7月20日)

7月19日には議案に関する質疑が行われ、知事参与の役割や、特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案の改正

内容等について、質疑・答弁がありました。

既に採決された議案を除く知事提出議案12件は各常任委員会に付託され、7月20日に開催された常任委員会において審査が行われました。

◎閉会日(7月24日)

最終日の7月24日には、各常任委員会の審査内容の報告があり、討論の後に採決が行われ、知事提出議案12件及び議員提出議案3件が可決・認定されました。

また、臨時の協議又は調整を行うための場として、議会改革検討委員会の設置が決定されました。



採決の様子

議会改革検討委員会

委員長 工藤 慎 康 副委員長 花 田 栄 介

委 員

山 谷 清 文	櫛 引 ユ キ 子	川 村 悟	今 博 人
谷 川 政 人	小 比 類 巻 正 規	和 田 寛 司	木 明 和
大 崎 光 明	吉 俣 洋	成 田 陽 光	木 大 澤
工 藤 悠 平	井 本 貴 之	工 藤 貴 弘	高 畑 紀
夏 堀 嘉 一 郎	大 平 陽 子	夏 坂 修	後 藤 清 安
吉 田 ゆ か り			



丸井議長による委員委嘱

Column

議案の審査や議会運営について「協議又は調整を行うための場」が設けられることがある!

設置される「協議又は調整を行うための場」には、地方自治法に基づき、青森県議会会議規則で定める各会派代表者会議などのほか、議会改革検討委員会のように臨時的に設けるものがある。臨時的に設ける必要があるときは、原則として議会の議決で決定する。

各議員が行った
質問の中から一部を
紹介いたします



本文中の
このマークは
用語解説です。



やまや きよふみ
山谷 清文 議員

会 派：自由民主党
選挙区：青森市

Q 子育て支援

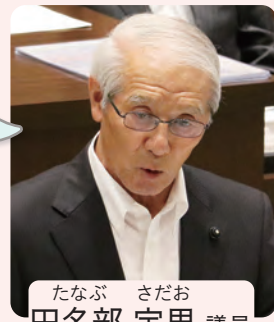
少子化対策

合計特殊出生率2以上に道筋をつけるための少子化対策「青森モデル」の内容について伺う。

Q 県政運営

県政運営の基本姿勢

県政運営に当たったの知事の基本姿勢について伺う。



たなぶ さだお
田名部 定男 議員

会 派：新政未来
選挙区：八戸市

Q 教育

高等学校教育

高等学校教育に対する知事の方針について伺う。

Q 教育

新たな諮問会議の設置

新たな諮問会議を設置予定としているが、第2期実施計画を推進することとの関係をどのように考えているのか伺う。

A 宮下知事

私が考えている少子化対策「青森モデル」は、これまで実施してきた本県の次世代育成支援施策のほか、国や市町村が実施している子育て支援施策を含めて政策効果の検証を行い、合計特殊出生率2以上を目指すものである。そのため、「青森県こども未来県民会議」を早期に立ち上げ、「青森モデル」をお示しできるようにしていきたいと考えている。

用語解説

合計特殊出生率

15～49歳までの既婚・未婚を問わない全女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性が一生の間に生む子どもの数に相当する。

現在の人口を維持する合計特殊出生率のことを人口置換水準といい、日本では概ね2.07程度となっている。

A 宮下知事

県民主体の県政を実現するため、県民の皆様との直接対話を大切にし、その中から課題を見だし、政策を立案していく手法を重視する。

また、市町村との連携を深め、地域の悩みに県政が寄り添い、互いに応援し合える関係を構築するとともに、県民の代表である県議会議員の皆様ともしっかりと議論を重ね、連携を図り、新しい県政を実現させる。実行力と発信力を高め、スピード感と情熱を持って県政をリードしていきたい。

A 宮下知事

百年先の青森県のことを考えたとき、教育に関する施策は県政の中で最も重要な分野の一つと考える。

本県の子どもたちが、生まれた地域や障害等の有無にかかわらず、世界に大きく羽ばたいていくことのできる人材として成長してほしいと願っており、さらに変化し続ける社会で生きていくために必要な力を身に付けることができる高等学校教育を進める必要があると考える。

用語解説

第2期実施計画

令和5年度から令和9年度までの県立高等学校の学科改編や地区ごとの具体的な学校規模・配置等を示す実施計画。「充実した教育環境の整備」と「各地域の実情への配慮」の観点に留意しながら、令和3年11月12日に策定したものを。

教育大綱

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条第3項に基づき、教育基本法第17条第1項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、地方公共団体の長が定める教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱。

A 宮下知事

第2期実施計画は、教育委員会において地域から御意見を伺いながら教育委員会会議で検討を重ね、策定されたものと考えており、計画そのものに意見を述べることはできないと考えている。

私の教育に対する思いは、今後設置予定の教育改革に関する会議で有識者から意見を伺いながら、**教育大綱**を通じて示すこととし、この中で県立高等学校に対する考え方を明らかにしたい。



さいとう たかあき
齊藤 孝昭 議員

会 派：オール青森
選挙区：むつ市

Q 核燃料物質等取扱税
交付金の見直し

原子力関連施設立地4
市町村長による核燃料
物質等取扱税交付金の見
直し要請に対する県の見
解を伺う。

A 宮下知事

当時の立場として、原子力防災
対策の充実強化等を踏まえ、交付
金に関して、立地及び周辺市町村
に当該税収入の25%程度を配分す
ること等について要請してきた。

交付金の見直しに
ついては、今後改め
て、立地及び周辺市
町村の財政状況や施
設の立地に伴う財政
需要等について伺う
などの段取りを経て、
進めていくべきもの
と考えている。

用語解説

核燃料物質等取扱税交付金制度

東京電力福島第一原子力発電所の
事故等を契機に、原子力関係市町村
における地域振興の取組はもとより、
防災・安全対策に係る取組の必要性
等を総合的に勘案し、平成24年度に
創設。原子力施設の立地及び周辺15
市町村を交付対象としている。

用語解説

開設準備委員会

統合の2年前に、統合の対象とな
る高等学校の関係者等を委員として、
統合校の教育活動の充実に向けた統
合校の名称、目指す人材像、特色あ
る教育活動等について協議する会議。

教育 Q

青森県立高等学校
教育改革推進計画

下北地区統合校の開設
に向け、地域の意見を取り
入れながら進めるべきと
考えるが、県教育委員会
の取組を伺う。

A 教育長

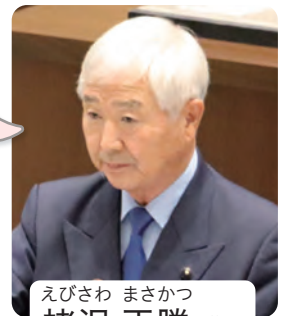
第2期実施計画策定後は、地域
の要望等を踏まえ、関係団体等を
個別に訪問し、統合校の開設に向
けた理解促進や今後の検討課題の
把握等を目的とした情報交換を実
施してきた。

また、6月29日には、むつ市が設
置した下北地区統合校検討委員会
において様々な御意見をいただい
ており、引き続き、地域の御意見
を伺うとともに、意見を開設準
備委員会につないでいきたい。

産業 Q

農林畜産業の振興

農業利益の最大化を図
る「シン・あおもり農林畜
産業」を知事はどのよう
に実現していく考えなの
か伺う。



えびさわ まさかつ
蛭沢 正勝 議員

会 派：自由民主党
選挙区：上北郡

A 宮下知事

「シン・あおもり農林畜産業」を
実現するキーワードは「利益追求」。
国内外への販路拡大、多様な消費
需要を満足させる産品づくり、先
端技術の活用、加工分野の強化な
ど、多角的なアプローチにより利
益の最大化を目指す。

まずは、物価高騰の影響緩和対
策を検討するとともに、生産者と
直接対話しながら、分野ごと、あ
るいは品目に着目した所得向上プ
ログラムを盛り込んだ新たな振興
策を策定し、「シン・あおもり農林
畜産業」を実現していきたい。

エネルギー Q

原子力政策

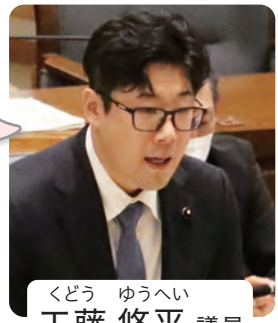
原子力施設の立地県と
して、知事は、国に対して
どのように向き合っていく
のか伺う。

A 宮下知事

知事三代にわたり引き継がれ
てきた、「施設の安全確保を第一義
に、地域振興に寄与することを前
提」として原子力施設の立地に協
力してきた姿勢を、私も引き継い
でいく。

このため、原子力・核燃料サイ
クル政策等についての政府の姿勢
を確認した上で、本県の考えや実
情等を理解していただくことも
に、様々な論点について確認し、
申し上げるべきは申し上げる姿
勢で臨んでいく。





くどう ゆうへい
工藤 悠平 議員

会 派：自由民主党
選挙区：八戸市

産業

Q

企業誘致の推進

社会経済環境が変化する中、県は今後、企業誘致の推進にどのように取り組んでいくのか伺う。

A 宮下知事

企業誘致は、県民にとって魅力的な雇用を創出し、経済に大きな効果をもたらすことから戦略的に取り組んでいく。デジタル化の進展や脱炭素社会の実現に向けた取組など、社会経済環境の変化を的確に捉え、デジタル関連産業や、グリーン関連産業、IT関連産業など成長が見込まれる分野への誘致活動を強化し、自らが先頭に立ち企業誘致に全力で取り組んでいく。

福祉

Q

ヤングケアラーへの支援

県が実施したヤングケアラー実態調査の結果を踏まえ、県では今後どのようにヤングケアラー支援に取り組んでいくのか伺う。

A 健康福祉部長

県では、ヤングケアラーを早期に発見し支援するため、①子どもがどのようなことでも相談しやすい環境をつくる、②積極的に大人がアプローチする仕組みを整える、③既存の様々な施策に子どもや家庭を繋げていくという3つの方向性を軸に施策に取り組むことが重要と考えている。

そのため、SNS相談窓口の設置や市町村の相談支援体制構築など、ヤングケアラーへの支援に取り組む。

用語解説

ヤングケアラー

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どものことをいう。その責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。

エネルギー

Q

原子力・核燃料サイクル政策

「GX脱炭素電源法」に基づく、危険な既存原発の再稼働や老朽原発の運転期間延長、破綻した核燃料サイクルの推進等の原子力政策に反対すべきと考えるが、知事の見解を伺う。

A 宮下知事

電力の安定的かつ安価な供給及び脱炭素社会実現のためには、安全性の確保を大前提とした原子力発電は必要であり、そのエネルギーを有効活用する核燃料サイクル政策についても、安全を第一に実現することが、エネルギー資源に乏しい我が国には必要なもの。立地県として、原子力・核燃料サイクル政策に協力していくべきと考えている。



あんどう はるみ
安藤 晴美 議員

会 派：日本共産党
選挙区：弘前市

教育

Q

公立学校における教員不足

全国的に臨時講師等の確保が困難な状況にあるが、今年の1学期始業式時点における県内公立小・中学校の未配置の状況について伺う。

A 教育長

臨時講師等の未配置の状況は、1学期始業式時点で、小学校で73人、中学校で38人となっている。未配置が多い要因としては、特別支援学級や退職者の想定以上の増加、臨時講師等の志願者の減少などが挙げられる。

臨時講師等が未配置の学校では、校内体制の見直しなどにより、児童生徒の教育活動に支障が生じないよう対応している。

用語解説

未配置

臨時講師等が確保できず、学校に配置される教職員数を満たしていない状態。

令和4年度からいわゆる特定不妊治療が公的医療保険の適用となり、原則3割の自己負担で不妊治療を受けられる体制となった。一方で、更に不妊治療が受けやすくなる環境整備は重要であると考えられており、不妊治療に係る自己負担の軽減等について、全国知事会等を通じて国に働きかけるとともに、必要な支援のあり方を検討していく。

用語解説

不妊治療

妊娠・出産を希望しているにも関わらず、一定期間、妊娠の兆候がない夫婦やカップルに対して行われる、人工授精や体外受精などの治療のこと。

用語解説

つくり育てる漁業

人工的に生産した種苗を放流する栽培漁業、成育場などの環境整備、養殖等による水産資源・漁獲量の増加を目指す漁業のありかたのこと。

用語解説

DX

デジタルのフェーズが進んでいくこと(デジタルイノベーション、デジタルイノベーション)をデジタル化とし、それらを経て新たなビジネスモデルや仕組みの変革をもたらすものをDXと定義している。



A 宮下知事

子育て支援 Q

不妊治療に対する経済的支援

少子化対策として、**不妊治療**に対する経済的支援を実施するべきと考えるが、県の見解について伺う。



なつさか おさむ
夏坂 修 議員

会派：公明党
選挙区：八戸市

A 宮下知事

水産業 Q

水産業の振興

つくり育てる漁業の推進に向けた知事の考えを伺う。

本県各海域の特色を生かした持続可能な漁業への変革を目指したいと考えており、そのために、人為的に介入しやすい「**つくり育てる漁業**」を重点的に推進していく。ホタテガイ等の主要魚種の増養殖推進に取り組みほか、関係者から意見を聴いてその他の魚種を絞り込み、産官学連携により取組を進めていく。また、こうした取組の基盤となる藻場の造成や漁港の整備についても計画的に実施していく。

A 企画政策部長

DX Q

DXの推進

「(仮称)青森県DX推進プラン」の検討状況について伺う。



きくち いさお
菊池 勲 議員

会派：自由民主党
選挙区：弘前市

A 健康福祉部長

子育て支援 Q

子育てしやすい環境づくり

「青森こども未来県民会議」の内容について伺う。

本年6月に公表した「令和4年青森県人口動態統計(概数)の概況」によると、令和4年の本県の出生数は5985人、合計特殊出生率は1.24といずれも過去最少となっている。今後、県では「青森県こども未来県民会議」を設置し、少子化の要因分析や政策立案、政策効果の検証等を行い、合計特殊出生率2以上に道筋をつける少子化対策「青森モデル」を確立したいと考えている。



おおさわ としひこ
大澤 敏彦 議員

会 派：自由民主党
選挙区：平川市

農業 🍏

Q

新規就農者の確保・育成

新規就農者の確保・育成に向けて、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

A 宮下知事

農業法人での就業体験と生活環境の視察を組み合わせたオーダーメイド型のモニターツアーを、首都圏在住者などを対象に今年度初めて企画しており、参加者からの感想等を情報発信戦略に生かしていく。

下北圏域における農業経営士による新規就農のサポート事例のように、インキュベーション機能を地域ぐるみで構築する取組を後押ししながら、新規就農者の確保・育成を図っていきたくと考えている。

農業 🍏

Q

りんごの高密度植わい化栽培の推進

本県における高密度植わい化栽培の推進について、知事の考えを伺う。

A 宮下知事

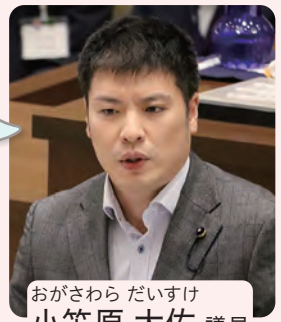
高密度植わい化栽培は、樹形がコンパクトで作業性が高く、スマート農業技術の開発と併せて、更なる省力化が図られる可能性を秘めている。

さらに、高度な剪定技術を必要としないことや、定植2年目から収穫が見込めるなど、新規参入者も取り組みやすく、担い手確保の面でも有効な技術である。
今後策定する所得向上プログラムの中でも有望な技術と位置づけ、関係団体・市町村とも連携して導入を推進していく。

用語解説

高密度植わい化栽培

わい性台木を利用してコンパクトに仕立てた樹を、支柱等で支えながら、10アール当たり250本以上となるよう密植するもの。単位面積あたりの収量増や早期収穫が見込めるほか、整列するため作業性が良い。



おがさわら だいすけ
小笠原 大佑 議員

会 派：新政未来
選挙区：青森市

LGBTQ 🧑🧒

Q

性的マイノリティへの理解促進

性的マイノリティに関する県の主な取組について伺う。

A 環境生活部長

県では、第5次おおもり男女共同参画プランにおける施策として、性の多様なあり方に対する理解の促進に取り組んでいる。

具体的な取組として、県のラジオ広報や広報紙等による普及啓発、行政職員に対する研修会のほか、今年度はパンフレットを作成・配布予定である。

さらに、「青森県パートナーシップ宣誓制度」を令和4年2月に東北の県として初めて創設し、本年6月末までに5組の方々が宣誓している。

動物愛護 🐶

Q

不適切な多頭飼育防止対策

犬や猫等の不適切な多頭飼育問題に対する県の取組について伺う。

A 健康福祉部長

県では、青森県動物愛護センターを拠点として、不適切な多頭飼育を防止するため、飼い主等へ屋内飼育や不妊去勢手術を呼びかけている。

また、多頭飼育に関する相談や苦情を受けた場合、市町村の関係部局や動物愛護団体等と連携し、飼育状況の実態を調査し、適切な飼い方や飼育する動物を適正な頭数とすることを指導助言するなど、不適切な多頭飼育による問題の発生防止と改善に向けて取り組んでいる。

用語解説

多頭飼育問題

多数の動物を飼育している飼い主が、適切な飼育管理ができないことにより、飼い主自身の生活状況の悪化、動物の状態の悪化及び周辺の生活環境の悪化などの影響が生じている状況のこと。

援している。

械等の導入を支

析機器等の整備

壤診断のための分

策事業により、土

創設した緊急対

ため、本年5月に

組を定着させる

の対策として、肥料コスト低減の取

で指導助言するとともに、県独自

要件や申請方法をワンストップ

が本事業を活用できるよう、実施


ターを設置し、対象となる農業者

業再生協議会を通じて事務セン

「**対策事業**」を受けて、県では、**県農**

国が創設した「**肥料価格高騰**

A 農林水産部長

農業  **Q**

肥料価格高騰対策

え、県はどのような支援
を行っているのか伺う。



こひるいまき まさのり
小比類巻 正規 議員

会 派：自由民主党
選挙区：三沢市

用語解説

肥料価格高騰対策事業

肥料価格の高騰による農業経営への影響を緩和するため、化学肥料の使用量の2割削減に向けて「堆肥の利用」など2つ以上のメニューに取り組む農業者に対して、国が令和4年度秋肥と5年度春肥の価格上昇分の約7割を交付する事業。

用語解説


あおもり人財確保推進センター

令和2年10月にアスパム7階に開設し、県内企業からの人材確保や従業員の職場定着に関する相談に随時対応しているほか、必要に応じて高度な知識・ノウハウを持つ専門家を派遣し、課題解決に向けたアドバイスを行っている。

あおもり人財確保推進センターへの相談件数は、令和2年度は100件、令和3年度は363件、昨年度は798件と年々増加している。

なお、昨年度の相談内容は、国や県の支援制度に関する相談が539件、求人に応募が集まらないという相談が197件、募集方法に関する相談が51件、職場定着に関する相談が11件となっている。

A 商工労働部長

雇用  **Q**

**人口減少下における
労働力確保対策**

あおもり人財確保
推進センターにおける県内
企業の相談状況について
伺う。

ていく。

及啓発を進め

場づくりの普

を支援する職

と育児の両立

にに対して、仕

ほか、県内企業

る就労支援の

ナーや合同企業説明会の開催によ

心とともに、再就職に向けたセミ

様々な不安や課題に対する相談対

このため、女性求職者が抱える

進めていく必要がある。


がら働ける環境づくりを積極的に

「**人口減少を克服する「青森モデ**

ル」を確立し、女性が子育てしな

人口減少を克服する「青森モデ

A 宮下知事

女性活躍  **Q**

女性の就労支援

女性の就労支援につい
て、県はどのように取り
組んでいくのか伺う。



くしびき こ
櫛引 ユキ子 議員

会 派：自由民主党
選挙区：五所川原市



WOMAN WORKING CAFE
(ジョブカフェあおもりの女性専用相談窓口)

用語解説

夜間中学


夜に授業が行われる公立の中学校で、様々な理由により義務教育を修了できなかった人や、不登校などのために学校に通えなかった人、本国で義務教育を修了していない外国籍の人などが学ぶことができる。青森県には設置されていない。

令和2年の国勢調査では、本県における15歳以上の未就学者数は、1622人である。

一方、これまで市町村等に実施した調査では、県内における夜間中学の認知度は低いと考えられる。

県教育委員会としては、夜間中学の周知や、アンケート調査による潜在的なニーズの把握、他県の視察等を行い、市町村と連携しながら、本県における夜間中学の在り方について検討していく。

A 教育長

教育  **Q**

公立夜間中学への対応

本県における未就学者
数と**夜間中学**の設置に
関する県教育委員会の対
応について伺う。

第314回定例会で可決された知事提出議案(14件)

条例関係(4件)

- 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
- 青森県県税条例等の一部を改正する条例案
- 青森県建築確認申請等手数料等徴収条例の一部を改正する条例案

人事関係(2件) ●青森県副知事の選任の件 ●青森県教育委員会教育長の任命の件

その他(5件) ●工事の請負契約の一部変更の件
 ●青森県工業用水道事業未処分利益剰余金の処分の件 など5件

決算関係(3件) ●青森県工業用水道事業会計の決算の認定を求めるの件 など3件

第314回定例会で可決された議員提出議案の内容

意見書 防災・減災、国土強靱化の強力かつ継続的な推進のための措置を求める意見書

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策推進のための各年度予算の確保に加え、5か年の期間終了後も継続的・安定的に国土強靱化を推進できるよう、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。対策の地方負担分及び多額の地方単独費を要する調査等関係業務について、地方財政措置の充実・強化を図ることなどを国に対し要望。

生涯を通じた国民皆歯科健診の実現を求める意見書

健康寿命を延ばすためには、歯と口腔の健康維持が極めて重要であることから、生涯を通じた歯科健診の法制化を早急に進めるとともに、国民皆歯科健診の制度設計等に関する具体的な検討を進めるに当たっては、地方自治体をはじめ関係者の意見を十分に反映させること。国民皆歯科健診の実施に関しては、国において十分な財政措置を講ずることなどを国に対し要望。

決議 感謝決議

三村申吾氏は、青森県知事就任以来、県政史上最長の5期 20年にわたり、常に県民の目線、生活者の視座にたち、東日本大震災など様々な困難に直面しながらも、ふるさと青森の再生・新生のために尽くされた功績は誠に大なるものがある。就任直後から徹底した行財政改革に取り組み、持続可能な財政基盤への道筋を示したこと、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録実現を含め、多様な地域資源を活かした観光振興に尽力したことは、多くの県民が認めるところである。ここに県議会の議決をもって在任中の功績を讃え、その労苦に対し感謝の意を表す。

青森県をもっと知るため、議会を傍聴しよう!

傍聴にあたり、本誌「傍聴者の声」に掲載するため、アンケートをお願いすることがありますので、ご協力ください。



傍聴者の声

新知事の今後に期待

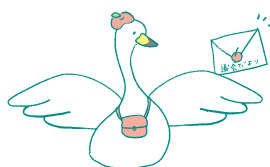
新しく宮下知事となり、傍聴者は期待を寄せていると感じた。

10代 男性 弘前市在住

傍聴については
こちらから



県議会からのお知らせ



◎あおもり県議会だよりに関するご意見・お問合せについて

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1 青森県議会事務局調査課
 電話 017(734)9797(直通)

県議会だよりは
こちらから

